

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第9章 その他の疾病対策等

第2節 肝炎

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部がん・疾病対策課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 肝炎ウイルス検査の受検の促進 → 肝炎の早期発見、早期治療は、肝炎患者の重症化を防ぐことができ、肝がんの発症を予防することにも繋がるため、肝炎ウイルス検査の受検勧奨について、ホームページや広報誌に掲載するとともに、講演会等でも受検勧奨を実施した。 ・肝炎ウイルス検査受検件数（県所管） H28：74 件（H25～累計：521 件）
(2) 肝炎医療を提供する体制の確保 → 肝疾患診療ネットワークの整備、相談及び情報提供機能の整備を目的に肝疾患医療センターを4病院に設置しており、肝疾患診療ネットワークの整備については、肝疾患診療ネットワーク拠点の整備、肝疾患診療ネットワーク（かかりつけ医や専門医療機関との連携体制）の構築、肝疾患診療にかかる専門的な医療情報の収集や提供、専門医療機関に関する情報の収集及び提供、肝疾患診療に関わる人材の育成を目的とした研修会を実施した。 ・医療従事者研修 H28：4 回 参加者数 192 人（H25～累計：16 回、参加者数 705 件）
(3) 肝炎に関する正しい知識の普及啓発 → リーレットや広報誌、ホームページ、各種講演会等で肝炎予防や助成に係る普及啓発を行った。 → 歯科医やかかりつけ医に対し、関係機関と連携し、普及啓発を実施した。 医療従事者向け啓発 H28 かかりつけ医向け啓発（内科、小児科、泌尿器科、眼科）3,500 部 （H25～累計：14,000 部）
(4) 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実 → 肝臓専門医による講演会と、肝炎患者・家族の情報交換・相談会の2部構成による肝臓病教室を開催した。 ・肝臓病教室 H28：1 回 参加者数 21 人（H25～累計：10 回、参加者数 335 件） → 肝炎患者に対する肝炎治療医療費助成を行った。 ・肝炎治療受給者証交付実績 6,942 件（H25～累計：27,035 件） → 肝疾患医療センターにおいて、感染者（肝炎患者を含む。）や、その家族等からの医療相談の実施や、肝炎に関する一般的な情報の収集及び提供を実施した。 ・肝疾患医療センター相談実績 5,847 件（H25～累計：15,796 件）

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 肝炎ウイルス検査の受検の促進

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	肝炎ウイルス検査の受検勧奨について、ホームページに掲載するとともに、講演会等でも受検勧奨を実施し、肝炎ウイルス検査の受検増加に寄与した。
評価理由	受検促進の取組みを着実に進めた結果、特に、平成 25 年度から 26 年度は約 1.5 倍増加するなど（H25 139 件 ⇒ H26 203 件 約 1.5 倍）、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	引き続き、「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。
次期計画に向けた取組の方向性	「県肝炎対策推進計画」が改定となるため、改定後の「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。

(2) 肝炎医療を提供する体制の確保

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	県内 4 つの肝疾患医療センターを中心に、肝疾患診療ネットワーク（かかりつけ医や専門医療機関との連携体制）の構築が着実に進んできている。
評価理由	肝炎医療の水準向上に向けて、比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	引き続き、「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。
次期計画に向けた取組の方向性	「県肝炎対策推進計画」が改定となるため、改定後の「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。

(3) 肝炎に関する正しい知識の普及啓発

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	肝炎に関する正しい知識と理解を深めるために、医療従事者への普及啓発について関係機関と連携し、実施した。
評価理由	普及啓発の取り組みを着実に進めており、比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性(29年度に向けた取組の方向性)	引き続き、「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。
次期計画に向けた取組の方向性	「県肝炎対策推進計画」が改定となるため、改定後の「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。

(4) 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	・肝疾患医療センターにおいて、感染者(肝炎患者を含む。)や、その家族等からの医療相談件数が年々増加しており、感染者等の精神的な負担軽減に寄与した。
評価理由	順調に進捗している。
今後の取組みの方向性(29年度に向けた取組の方向性)	引き続き、「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。
次期計画に向けた取組の方向性	「県肝炎対策推進計画」が改定となるため、改定後の「県肝炎対策推進計画」に基づき確実な事業の進捗に努める。

4 総合評価

評価	評価理由
B	感染者の早期発見のため、県民が少なくとも1回は肝炎ウイルスを受検する必要があるが、具体的な成果は短期間では見えてこない面があり、十分に浸透していない状況がある。一方で、受検の促進、医療提供体制の確保、正しい知識の普及啓発、患者や家族等に対する支援など総合的な肝炎対策を着実に推進しており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--